

平成26年
12月
定例会
11月25日～
12月16日

主な議案

一般質問

知つっこおフェイス

委員会視察レポート

特集 議会を知つっこ

10区分から4区分に変更 敬老祝金贈呈年齢

主な議案

敬老祝金贈呈条例の一部改正

祝金を贈呈する年齢を10区分から4区分に変更し、贈呈金額の一部も変更するものです。

質疑

Q 変更に至った経緯は。

A 今後、高齢者人口が増加し、平均寿命も年々延伸している状況の中、高齢者福祉事業を安定的に継続することができるよう市民協議会の中で

12月定例会は11月25日から12月16日までの22日間の会期で開かれ、42件の議案等が提出され、いずれも可決・承認しました。議案等については、7議案に対し延べ14人の議員が質疑し、議案3

件及び請願1件に対して、延べ8人の議員が討論を行いました。また、4日間にわたる一般質問では、18人の議員が活発な論戦を展開しました。

審議していただき、長寿のお祝いとして、一般的に浸透している、77歳（喜寿）、88歳（米寿）、99歳（白寿）、及び100歳を支給年齢とした。



岡寄郁子議員

高齢者の声を無視した進め方に反対

①パブリックコメントで、43人のうち8割が削減に反対という声を反映させることなく議会に提案した②支給回数が、75歳以降、さいたま市6段階、横浜市9段階に比べて大幅に減る③戸田市は、連



峯岸義雄議員

日本共産党市議団は健康福祉委員会に、階層は現在の10段階を残す、金額は引き下げるという修正案を提案したが、賛同を得られなかった。よって、反対する。

戸田市こそ急速な高齢化への対応が必要
これまで戸田市は、豊かな財政力を背景に高齢者サービスが手厚く行われてきた。敬老祝金も、近隣市と比べ対象年齢が多く、額も群を抜いていた。しかし、戸田市は、これからの10年で高齢者人口は5千人増え、特に75歳以上人口が2倍になる。戸田市こそ、他の自治体以上に、急速な高齢化への対応が必要である。今回の改正は、楽しみにされていた高齢者の気持ちを考える大変遺憾ではあるが、妥当なものとして、原案に賛成をする。ただし、執行部に対



真木大輔議員

財源は有限、事業全体を見直すことが必要

今回の改正は「贈呈する年齢区分」を大幅に整理するものであり、皆さんに納得いただくことは難しいと思うが、今回の改正によっても、近隣を合わせた10市区の中で上位3番目の手厚さであ



▲戸田公園駅の自転車駐輪場

《結果》

原案可決（21対4）

自転車駐車場条例の一部改正

自転車駐車場利用者の利便性とセキュリティ対策の向上を図るため、自転車駐車場の増設と指定管理者制度の導入を行うとともに、利用料金の改正を

質疑

Q 利用料金の算定根拠は。

A ラックの入れ替え費用、自転車駐車場増設等の工事費、駐車場運営のランニングコストや駐車場用地の賃借料等を、定期利用料、一時利用料の割合で案分し、1台当たりの利用料を



望月久晴議員

値上げせず運営することは可能

今回の改正は、使用料を一般月額540円から2200円と、4倍に引き上げる内容と



伊東秀浩議員

近隣市比較で、値上げ後も安い状況にある

改修に伴う費用が約8億2600万円かかる中で、行政改革プランにのっとった受益者負担はやむを得ない。また、民間とのバランスも考えていかなければならぬ。

質疑

Q 紙おむつ支給限度数を半減する経緯は。

A 現在、紙おむつ等支給サービスを受給している方の平均利用

《結果》

原案可決（21対4）

高齢者総合介護福祉条例の一部改正

在宅で要介護高齢者を介護している方に支給している支援金を月額1万5千円から5千円に、紙おむつ等支給事業について、受給者1人1月当たりの支給限度数を合計10パックから5パックにする等の改正です。

主な議案

一般質問

知つっこおフェイス

委員会視察レポート

特集 議会を知つっこ